



最新研究報告 国内の自殺報道の変化とウェルテル効果

2025年6月27日（金）
（調査研究推進部 谷貝祐介）

いのち支える自殺対策推進センター
Japan Suicide Countermeasures Promotion Center

本日のお話

国内におけるウェルテル効果の特徴に加え、
自殺報道の変化に関する分析結果もご共有

01

国内におけるウェルテル効果の特徴

02

近年の自殺報道の変化

03

報道内容の変化と自殺者数の関係

通信会社のデータアナリストから自殺対策研究へ



調査研究推進部
分析官

谷貝 祐介

やがい ゆうすけ

博士（人間科学）

2014年-

早稲田大学人間科学部および同大学院にて、**熟練演奏家の身体運動の研究**などに従事し、博士号を取得

2021年-

株式会社ARISE analyticsにて、**大規模データを活用した分析業務**、およびそれらを駆使した**サービス改善業務**を経験

2023年12月-

同センターの分析官として入職
自殺報道関連の分析のほか、こどもの自殺の要因分析等を担当

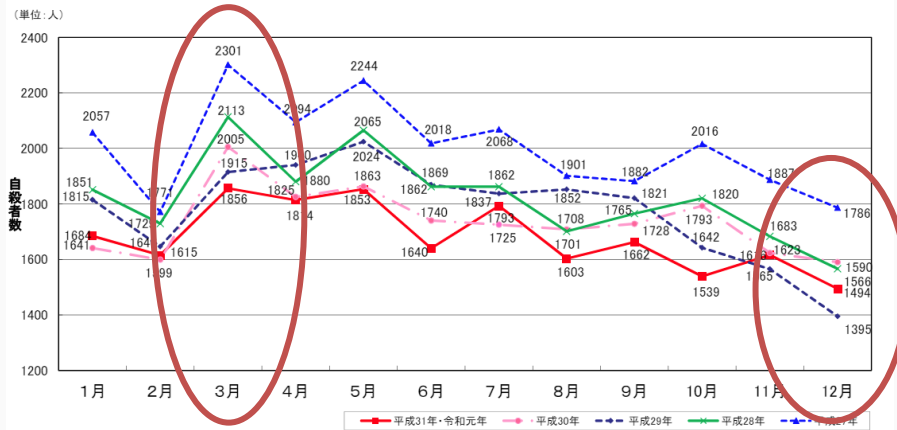
国内におけるウェルテル効果の特徴

はじめに：自殺者数が多い時期※

月ごとに自殺者数は異なる
(例えば、3月は多く、12月は少ない)

月曜日は自殺者数が多い

2015年-2019年の月別自殺者数



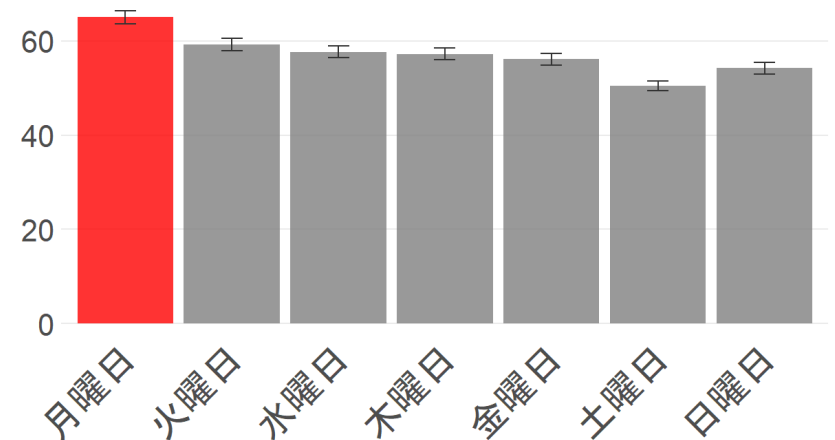
4

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

※厚労省・警察庁「令和元年中における自殺の状況」より、転載

2015年-2019年の曜日別平均自殺者数

— 95%信頼区間

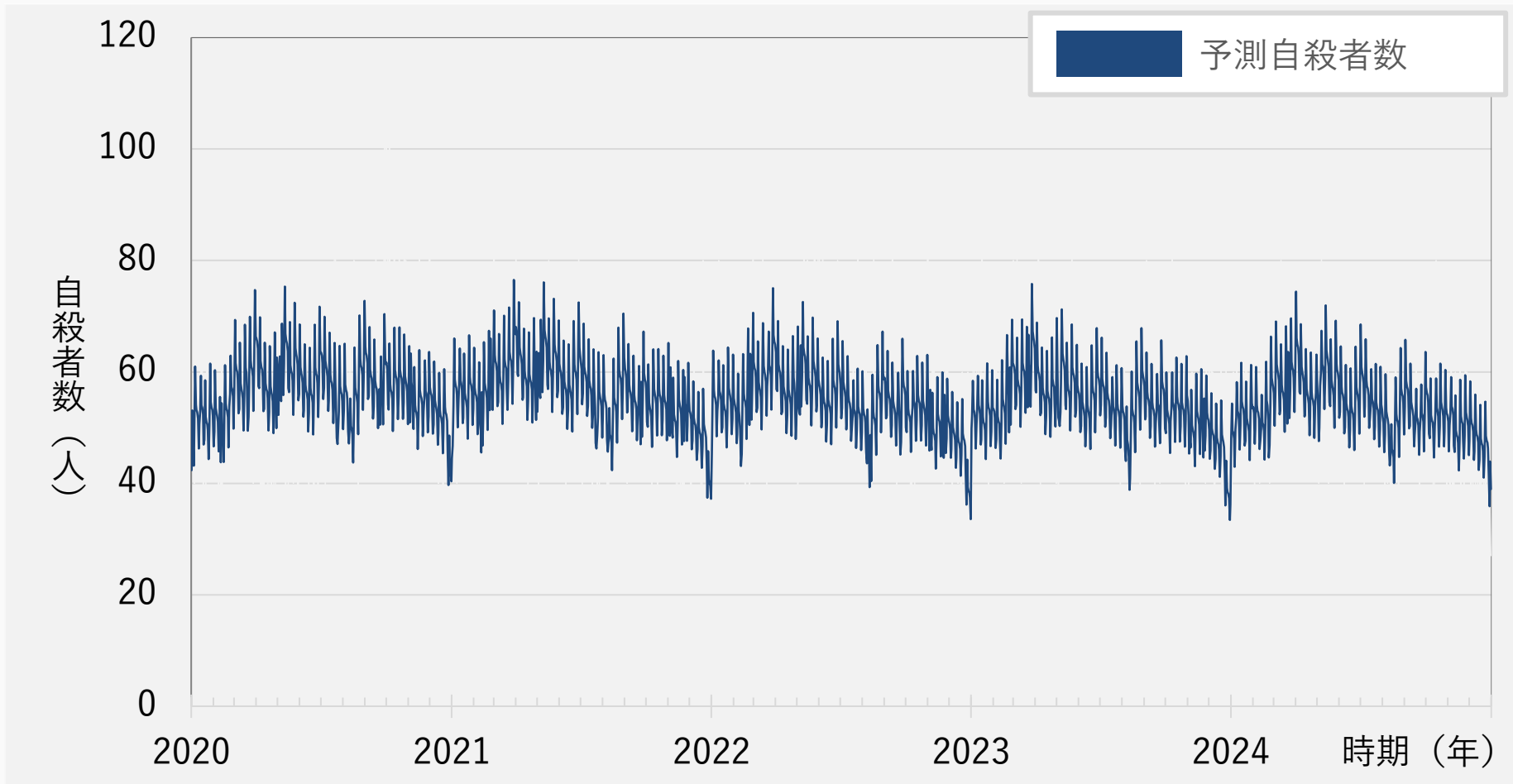


※警察庁「自殺統計」より、JSCP作成

日次自殺者数モニタリング

前頁の特徴など(※)を学習した予測モデルを作成
→ 予測自殺者数を推定

※警察庁「自殺統計」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

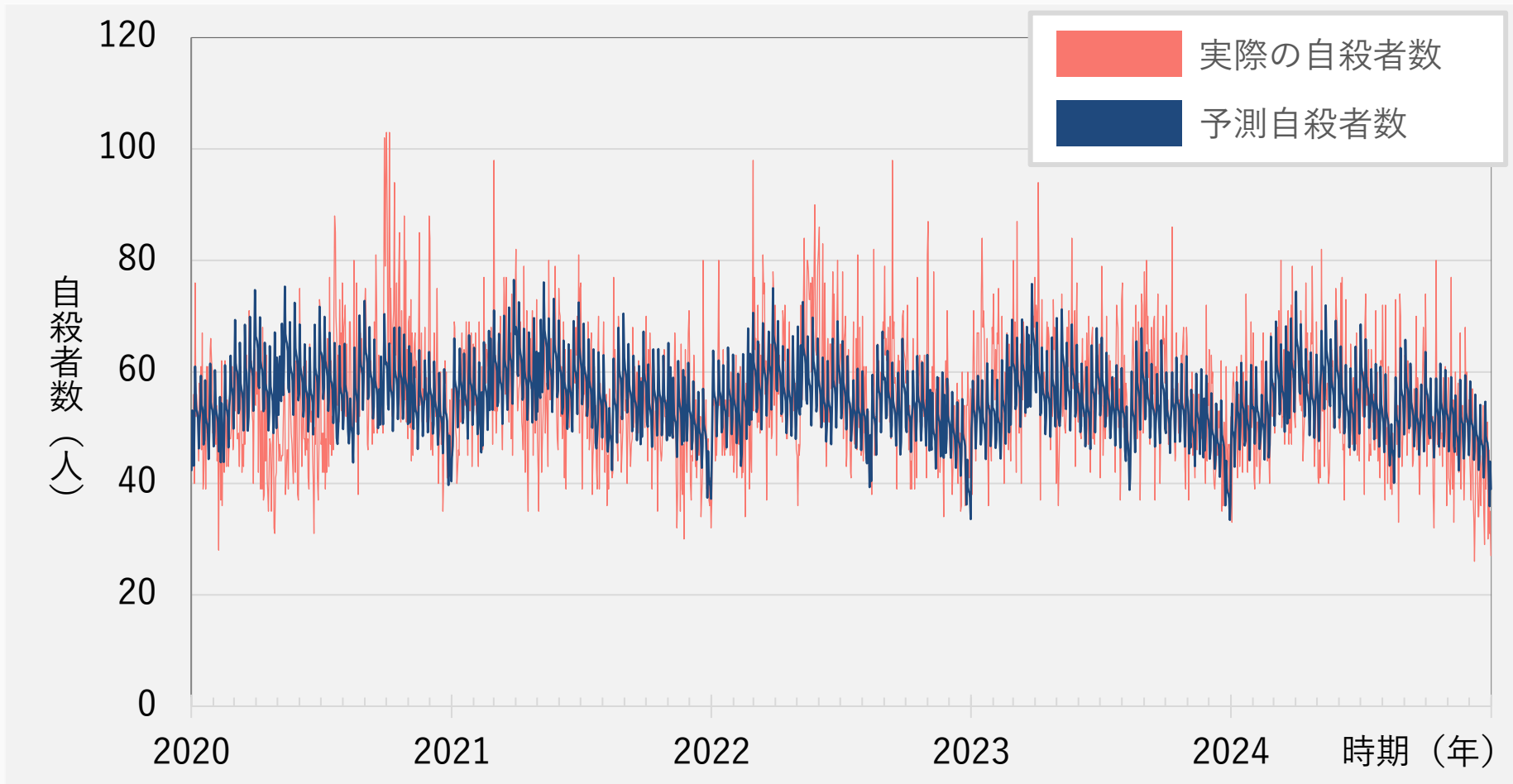


※予測モデル・推定に使用した説明変数：失業率、週、祝日前日、祝日当日、祝日翌日・曜日（学習用データの期間は2015-2019年）

※人口の増減の影響を統制するために、オフセット項として人口を予測モデル・推定に使用

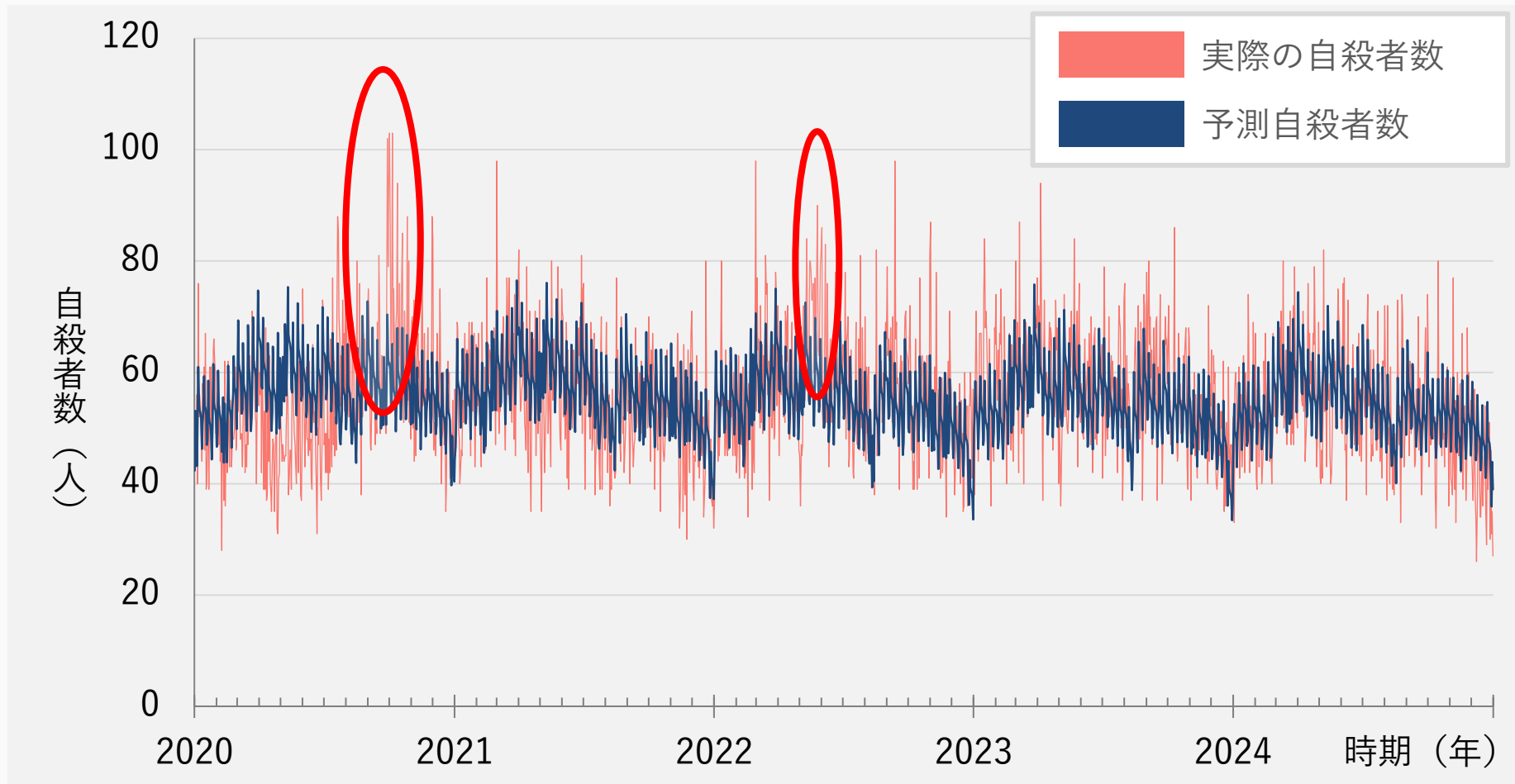
日次自殺者数モニタリング

予測自殺者数と実際の自殺者数との”ずれ”を定期的にモニタリング



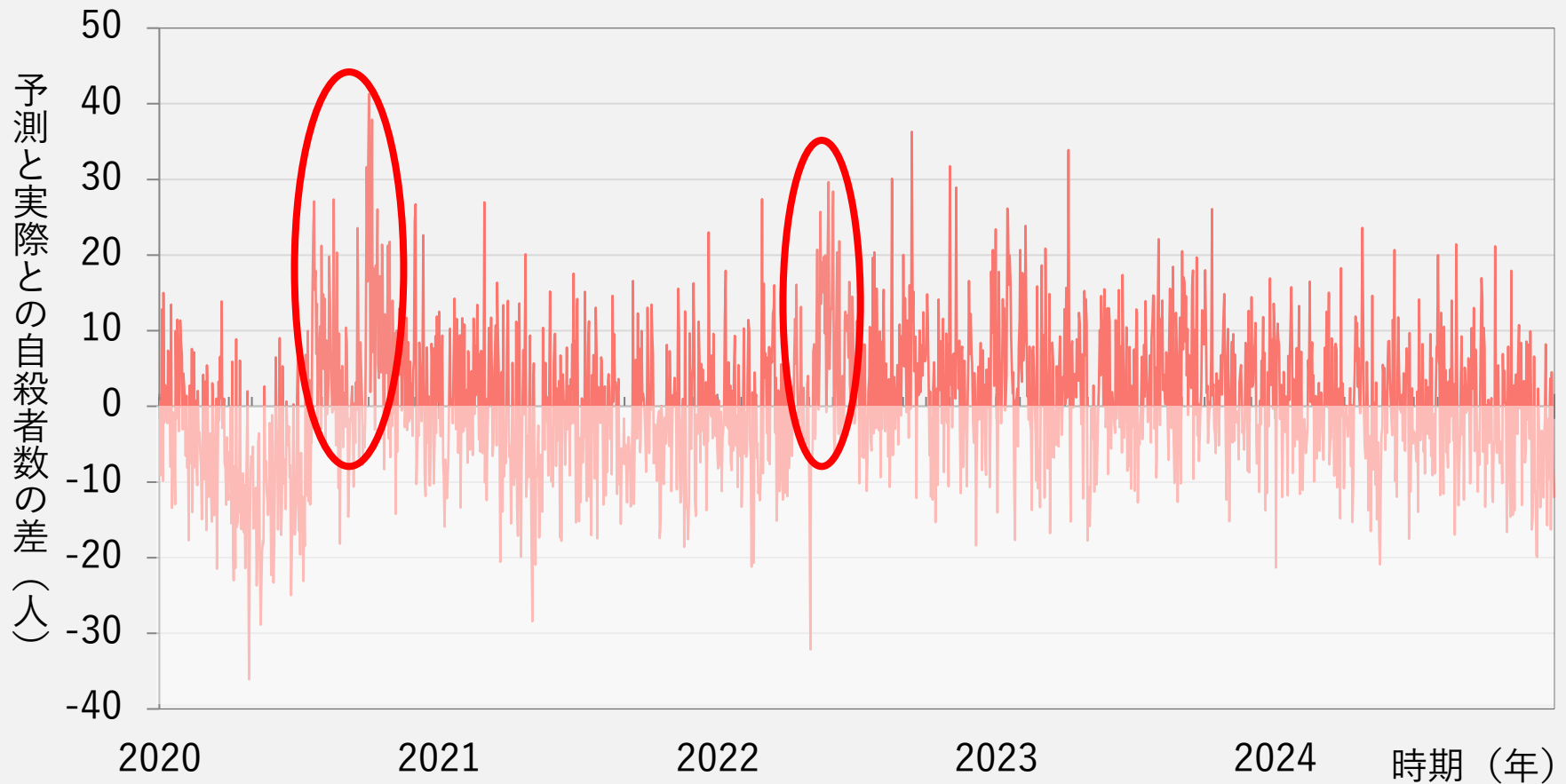
日次自殺者数モニタリング

予測値を大幅に上回ってしまう期間がある



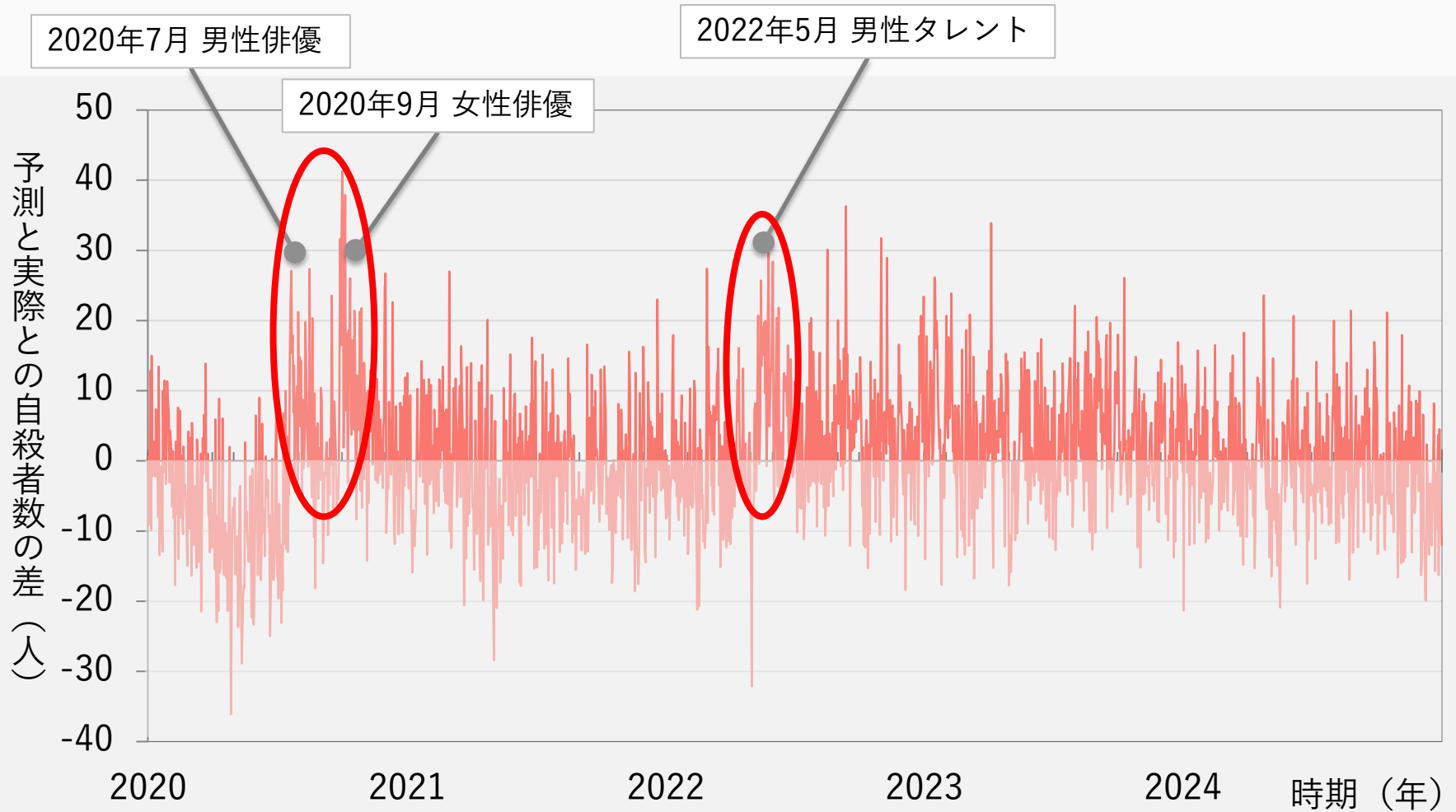
日次自殺者数モニタリング

予測値を大幅に上回ってしまう期間がある



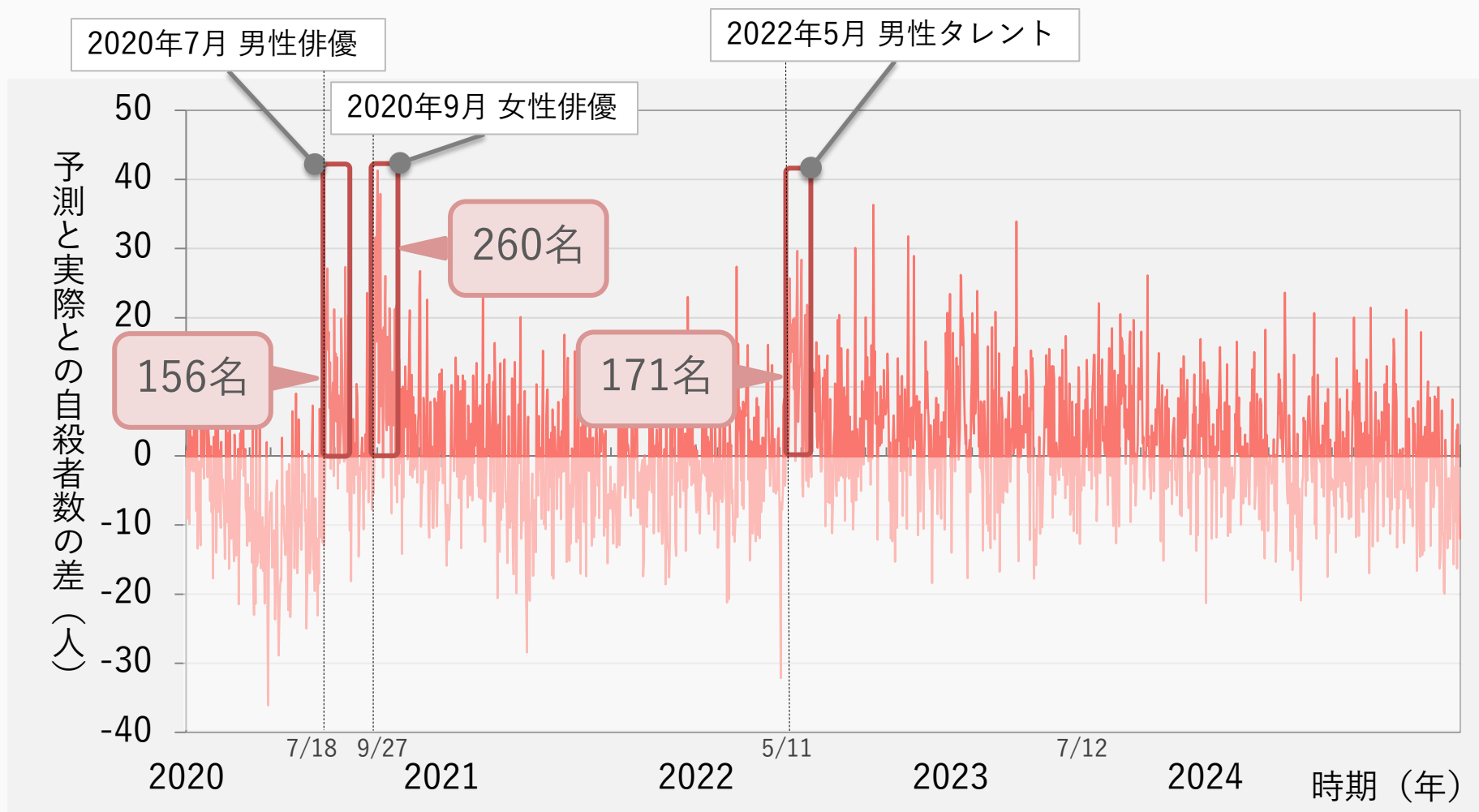
日次自殺者数モニタリング

有名人が自殺で亡くなった日と関連



日次自殺者数モニタリング

報道後2週間で予測値を何名上回ったか ※

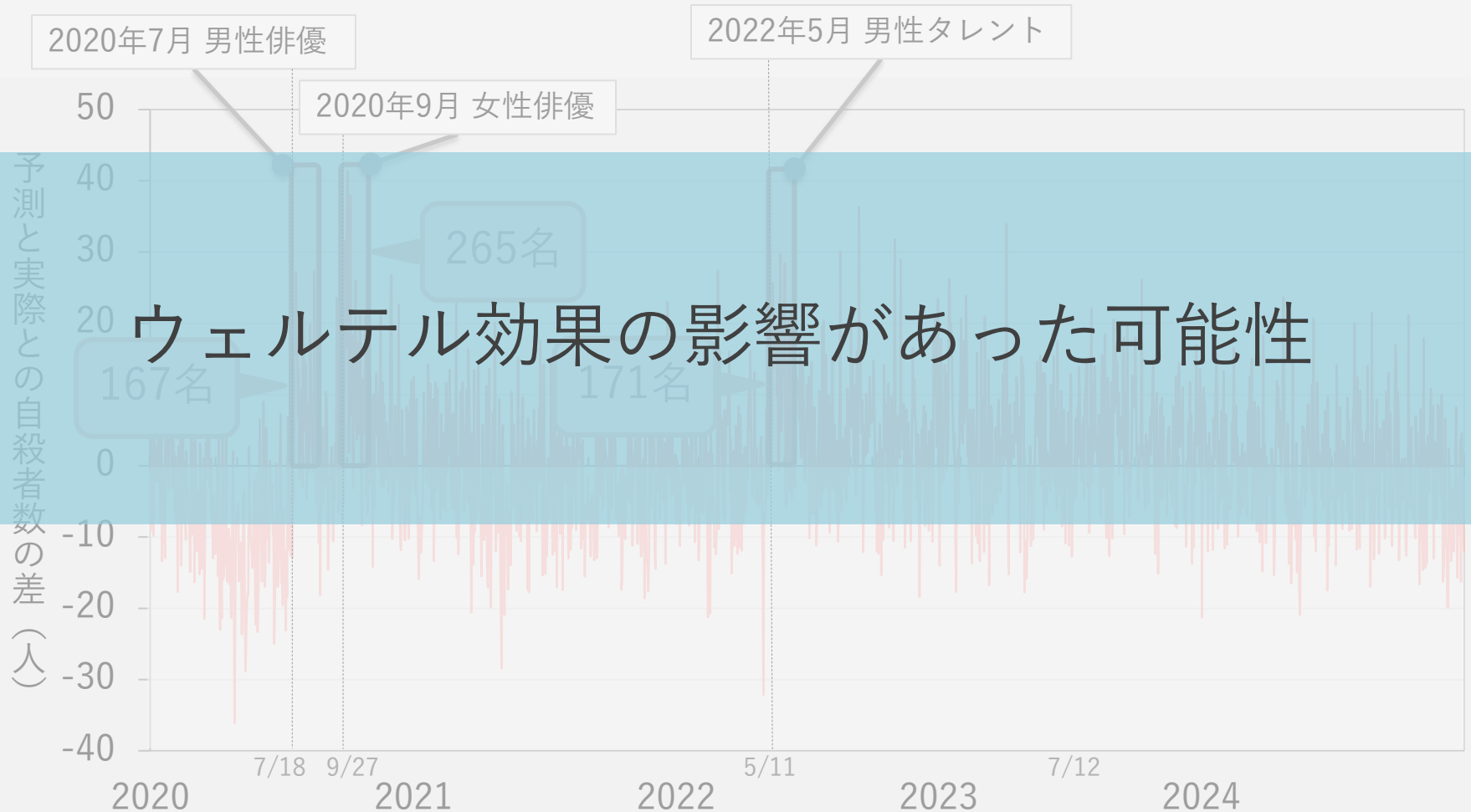


※ 逝去日当日を含み、14日間の自殺者数を集計
※ 14日分の実測値から予測値を引いた差分を合計した値を集計

※警察庁「自殺統計」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

日次自殺者数モニタリング

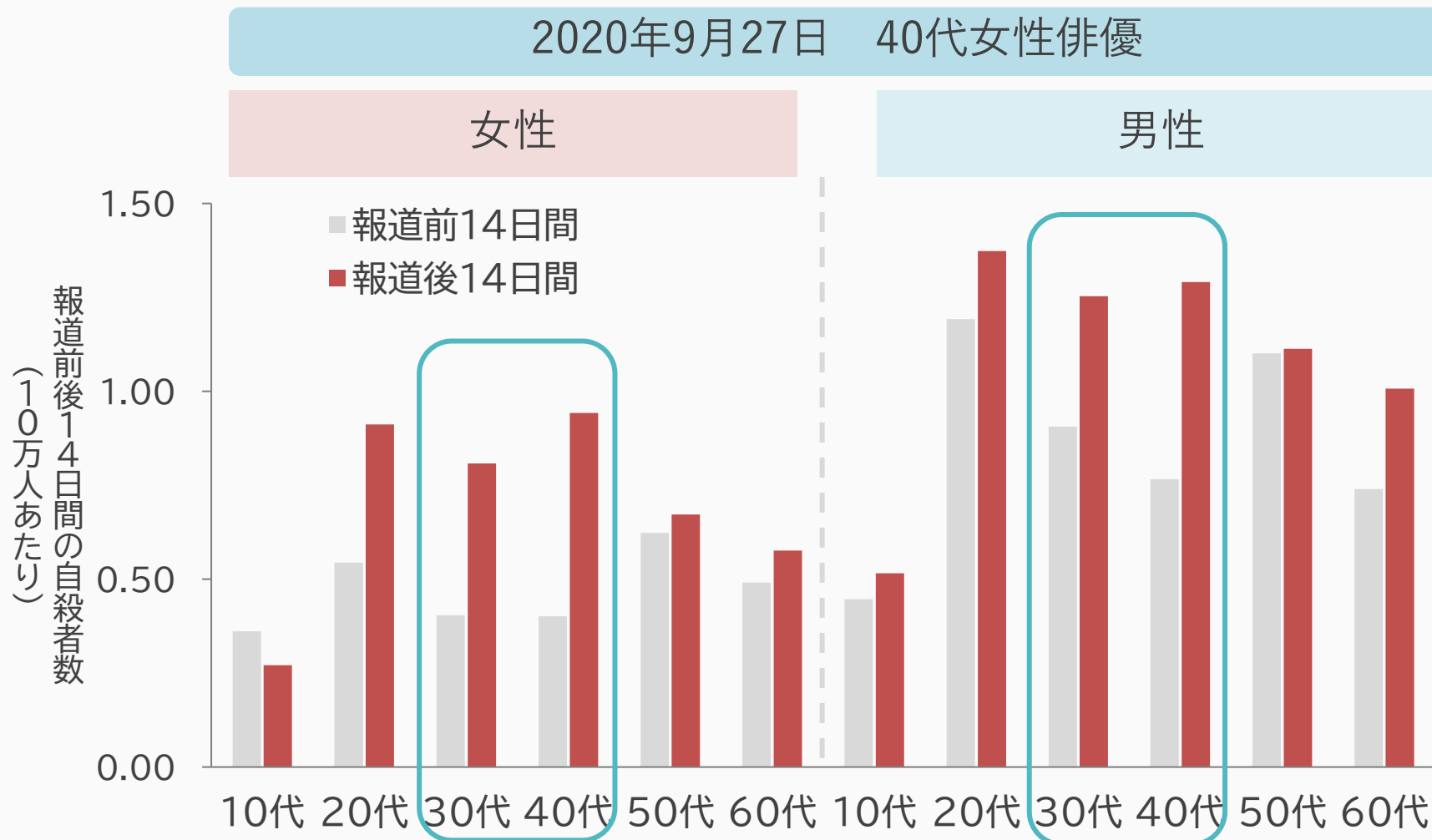
報道後2週間で予測値を何名上回ったか ※



※警察庁「自殺統計」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

ウェルテル効果の特徴

亡くなった有名人と属性が近い方が影響を受けやすい



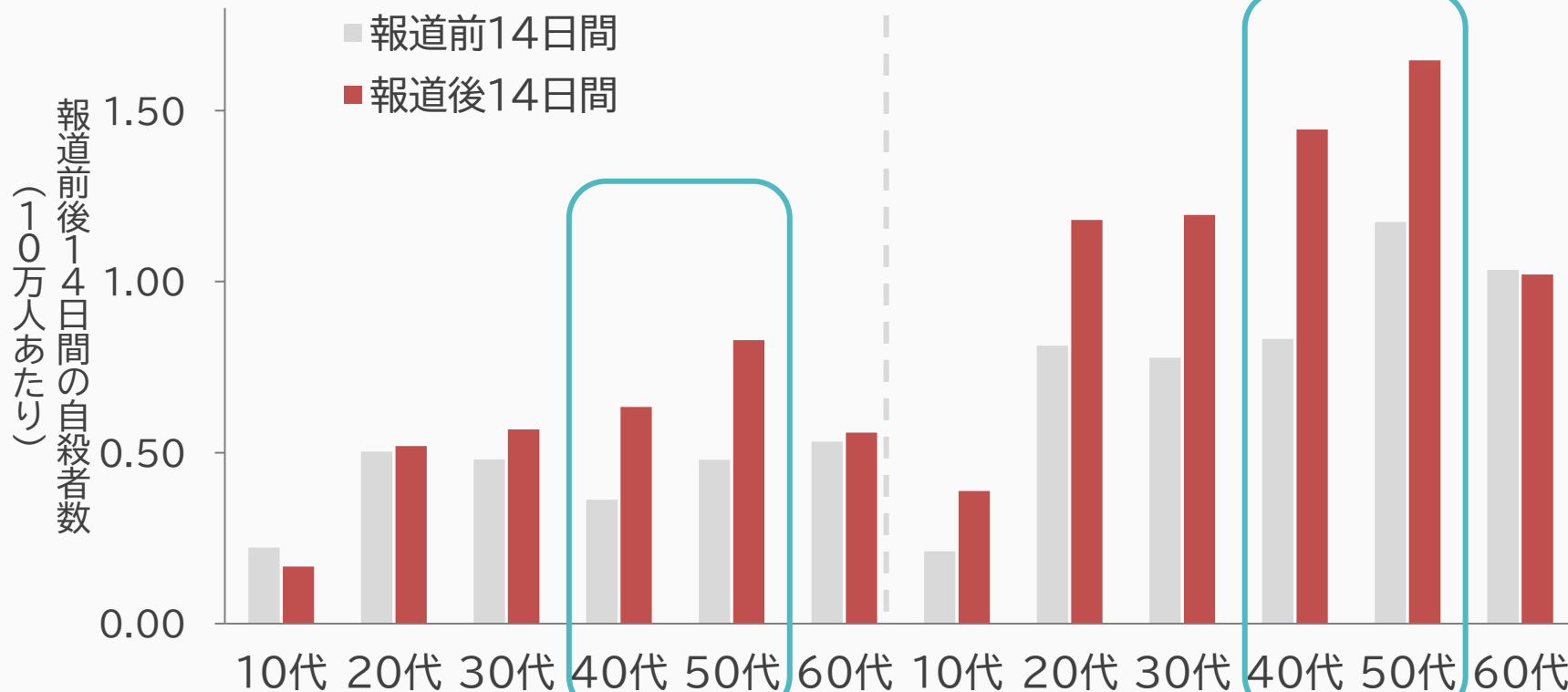
ウェルテル効果の特徴

亡くなった有名人と属性に近い方が影響を受けやすい

2022年5月11日 60代男性タレント

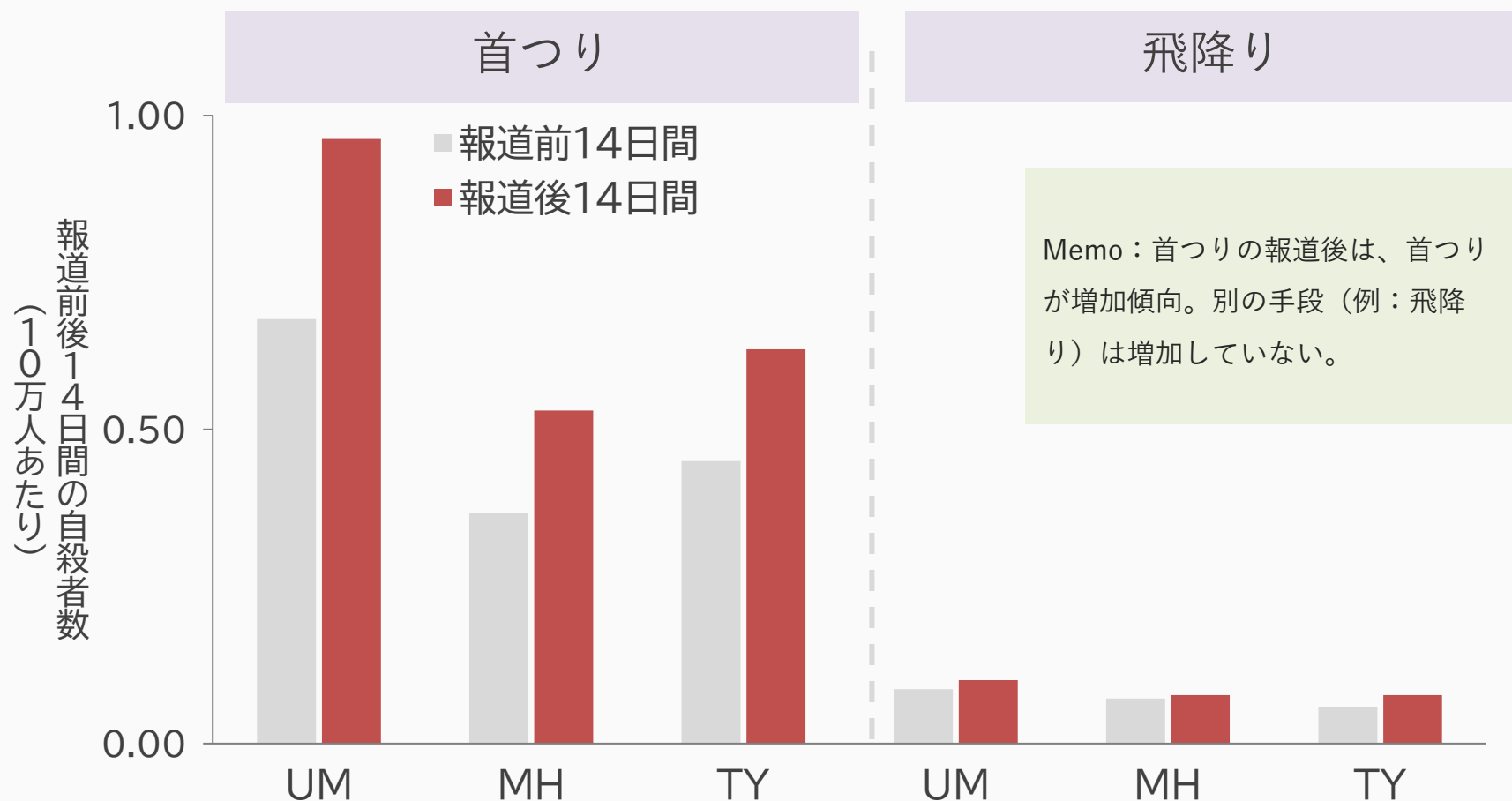
女性

男性



ウェルテル効果の特徴

亡くなった有名人と同じ手段での自殺が増加



※UM、MH、TYは、有名人のイニシャルを表す

※警察庁「自殺統計」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

近年の自殺報道の変化

中間報告

有名人の自殺報道に関する取り組み

2011年	2020年				2021年	2022年	2023年
5月 女性俳優	5月 女性アスリート	7月 男性俳優	9月中旬 女性俳優	9月下旬 女性俳優	12月 女性俳優	5月 男性俳優 男性タレント	7月 タレント

WHO
ガイドライン

2017年
第3版

ウェルテル効果について
分析結果に基づいて初めて言及

2023年
第4版

JSCP
アクション

JSCP単独PR

JSCP・厚労連名PR

コロナ緊急レポート

自殺報道勉強会（年1・2回）

メディア側
アクション

WHO自殺報道ガイドラインの『Don'ts して
はいけないこと』等を参考情報として追記
（第4回報道勉強会でご報告）

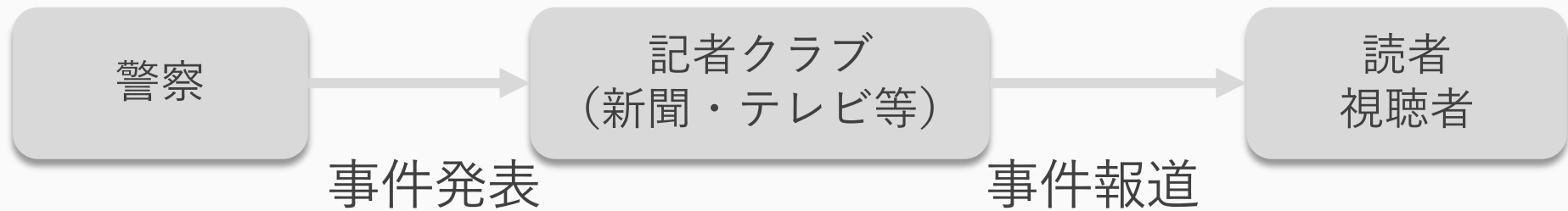
2021.1 Yahoo!ニュース
記事入稿ガイドライン改定

2023 民放連
「放送基準」改正※

各社で独自指針やルールを作成する動き

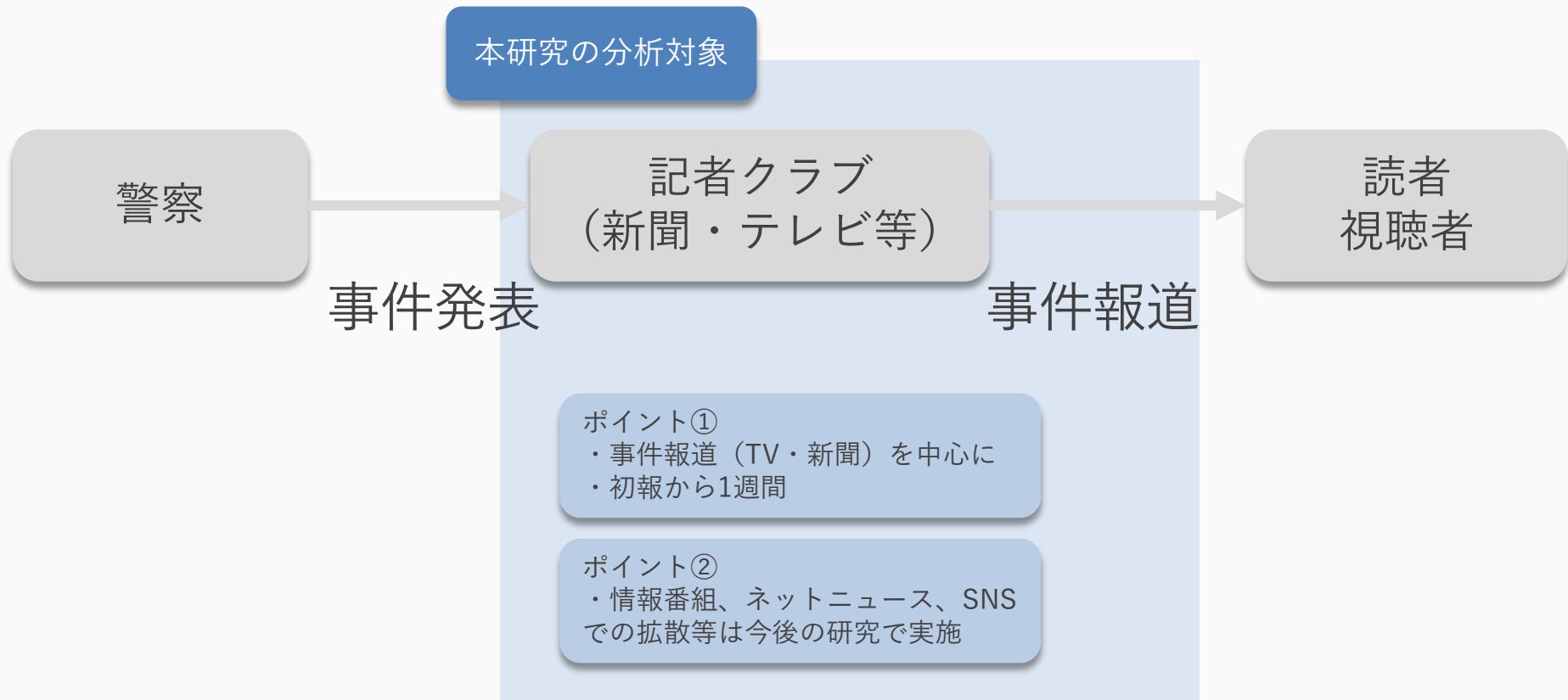
本研究の分析対象

事件発表から報道までの流れ



本研究の分析対象

事件発表から報道までの流れ



分析対象

- 有名人9名の、自殺日から7日間の有名人名を含む報道
- テレビ番組（Mデータ）：NHK、日テレ、テレ朝、フジ、TBSにおける
昼・夜の時間帯の報道番組
 - － 情報番組は対象外（今後の検討）
- 新聞記事(G-Search)：全国紙4紙（読売、朝日、毎日、産経）、共同通信
 - － ネット記事は対象外（今後の検討）

自殺日	氏名		テレビ番組数	新聞記事数
2011/5/12	UM	20代、女性、タレント	5	5
2020/5/23	KH	20代、女性、アスリート・タレント	17	27
2020/7/18	MH	30代、男性、俳優	5	9
2020/9/14	AS	30代、女性、俳優	3	5
2020/9/27	TY	40代、女性、俳優	7	8
2021/12/18	KS	30代、女性、俳優	9	13
2022/5/3	WH	60代、男性、俳優	2	7
2022/5/11	UR	60代、男性、タレント	8	13
2023/7/12	RY	20代、タレント	7	5

報道内容の評定基準

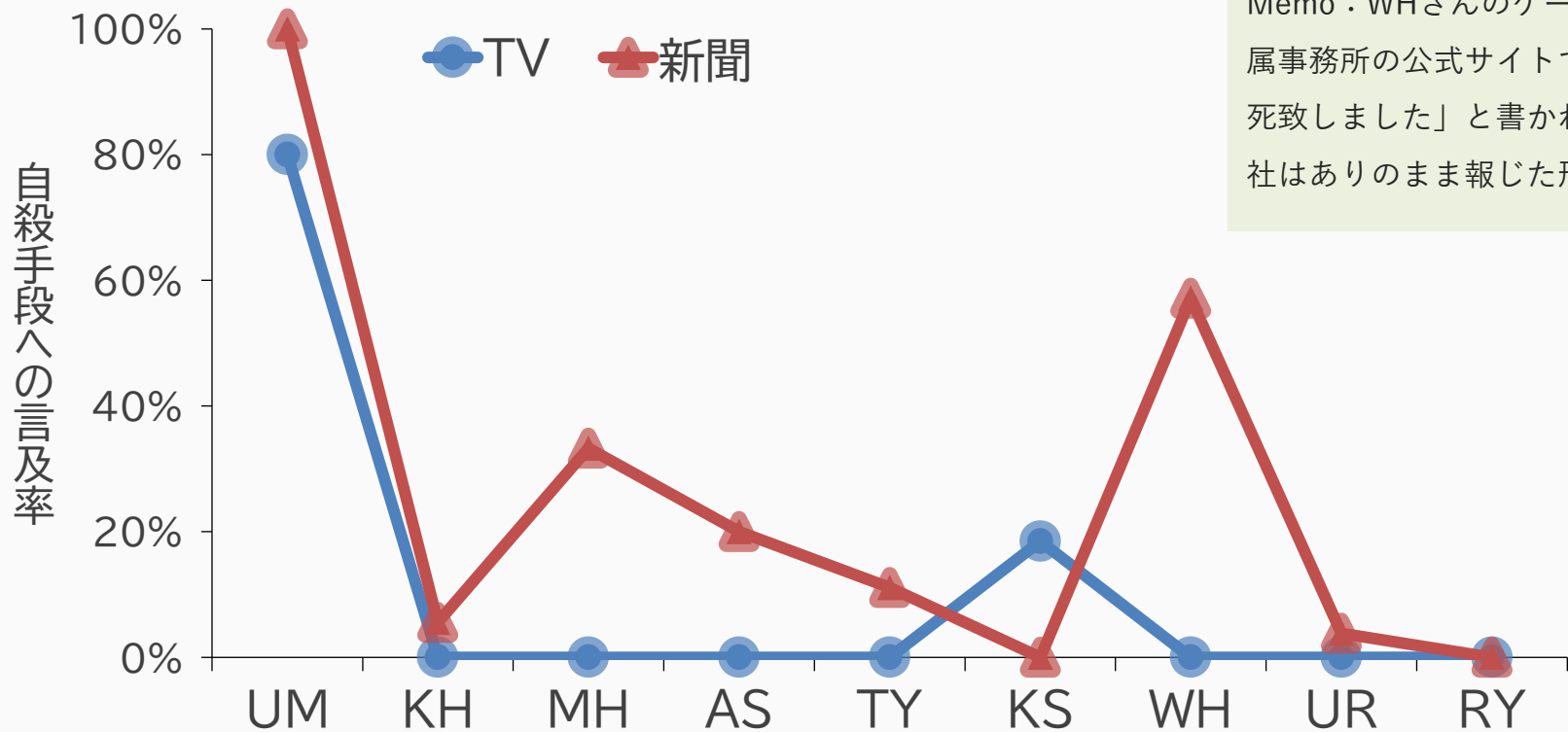
WHOガイドライン 基準
(2023)

Don'ts 2	• 自殺の手段を描写しない
Don'ts 6	• 見出しにセンセーショナルな言葉を使用しない • 見出しに「自殺」という言葉を使わない
Dos 1	• 支援先の情報を掲載している

- Don'ts 8項目、Dos 6項目の中から、抜粋した結果を中間報告
- 2名以上の評定者が、独立して番組・記事内容を評定

Don't s 2. 自殺の手段を描写しない

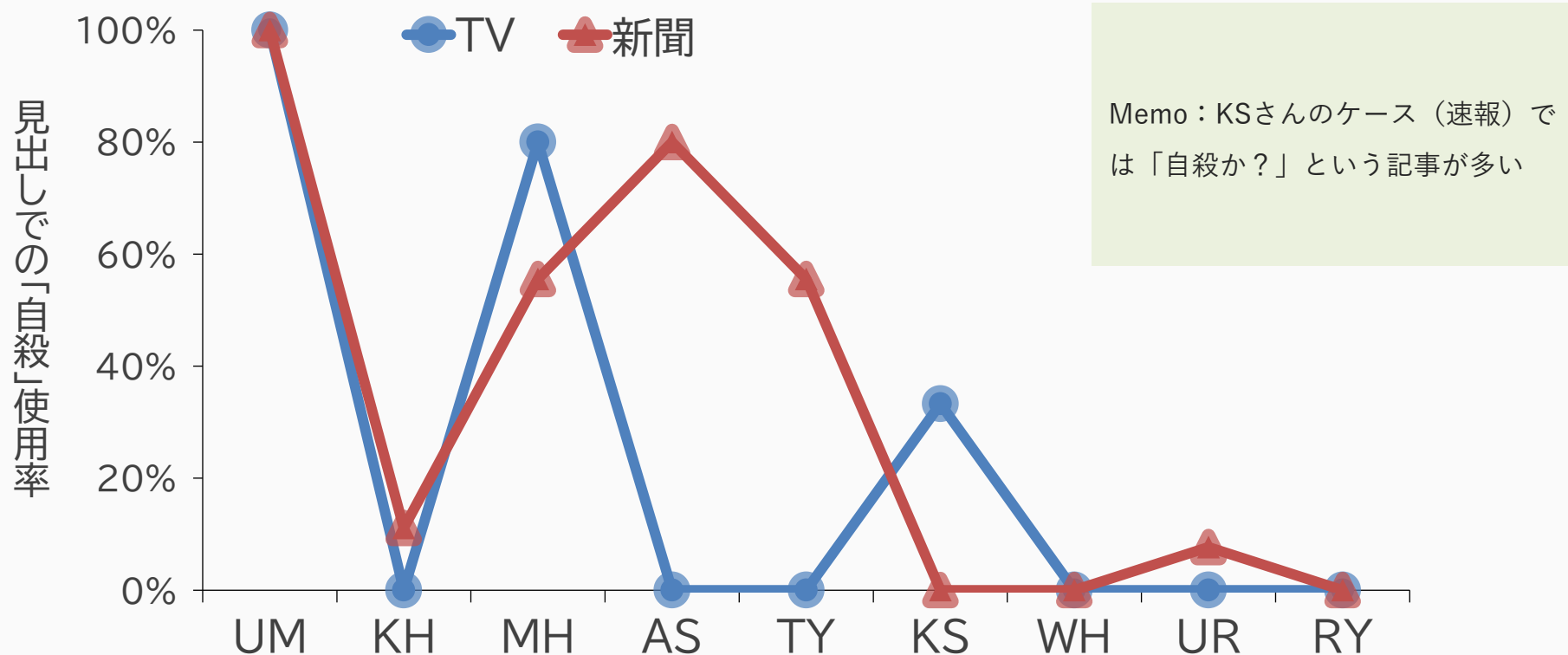
自殺の手段を描写した報道は減少傾向



Memo : WHさんのケースでは、所属事務所の公式サイトで「自宅で縊死致しました」と書かれており、各社はありのまま報じた形。

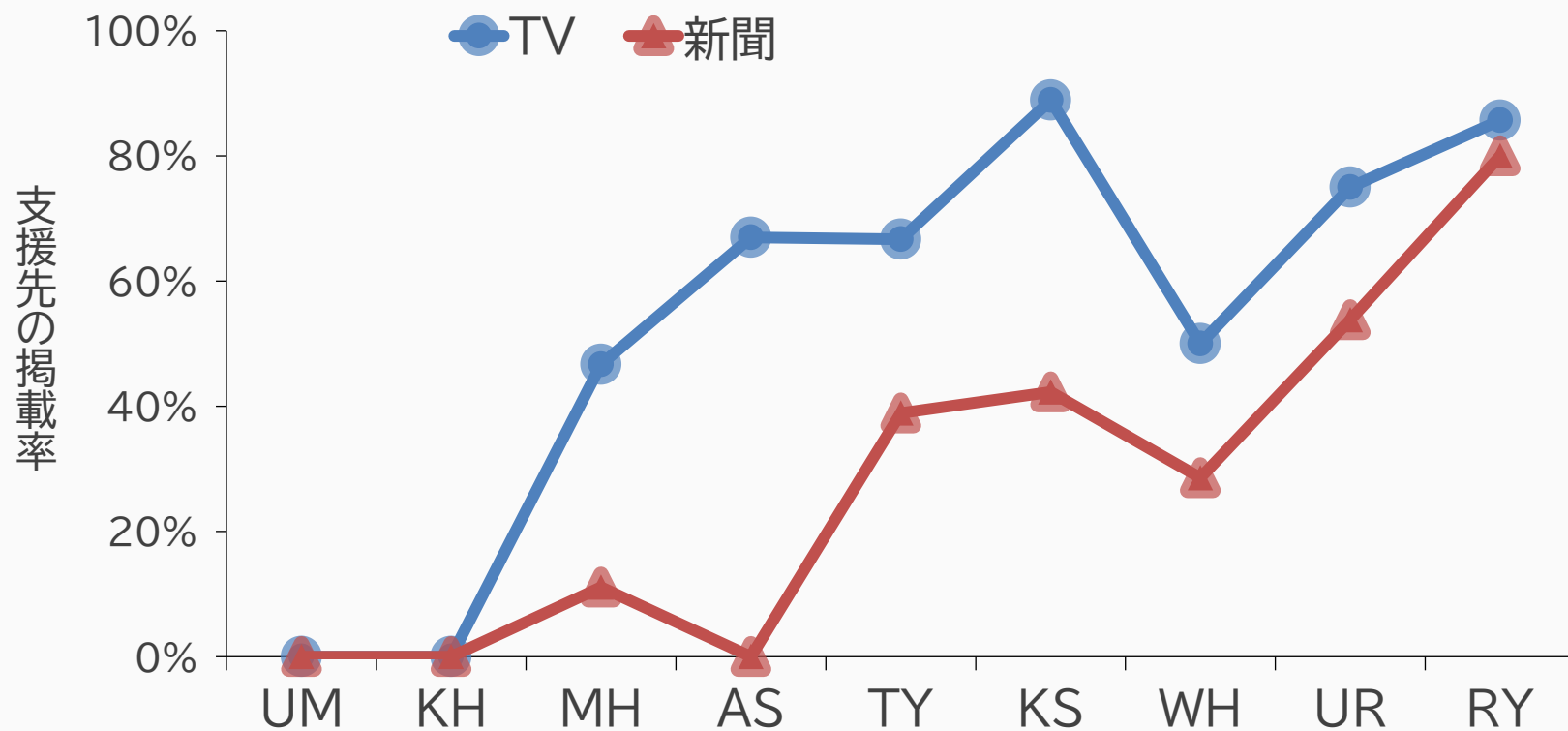
Don't s 6. 見出しにセンセーショナルな言葉を使用しない

見出しに「自殺」を使った報道は減少傾向



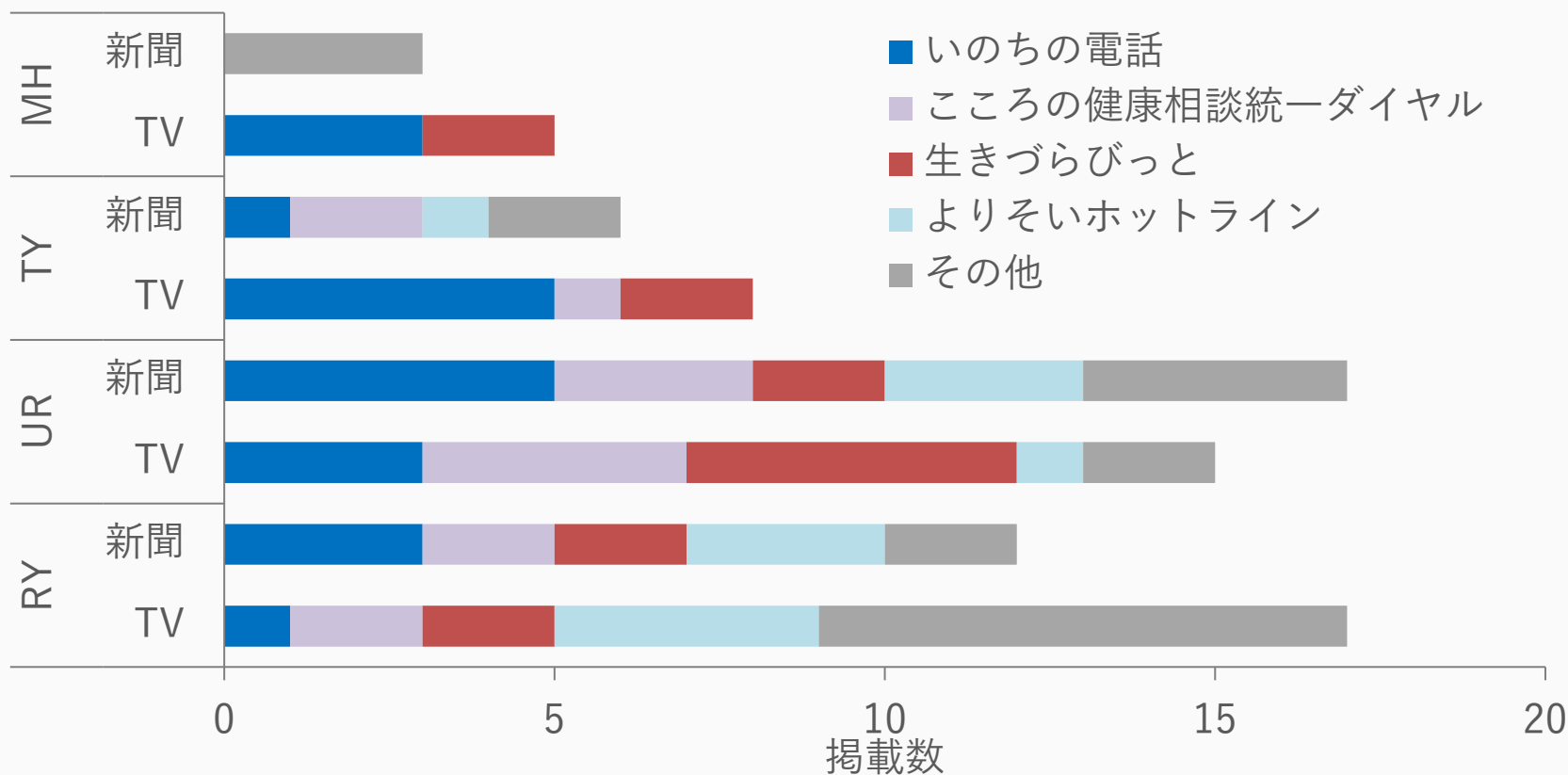
Do s 1. 支援先の情報を掲載している

支援先を掲載した報道は増加傾向



主な支援先の掲載数

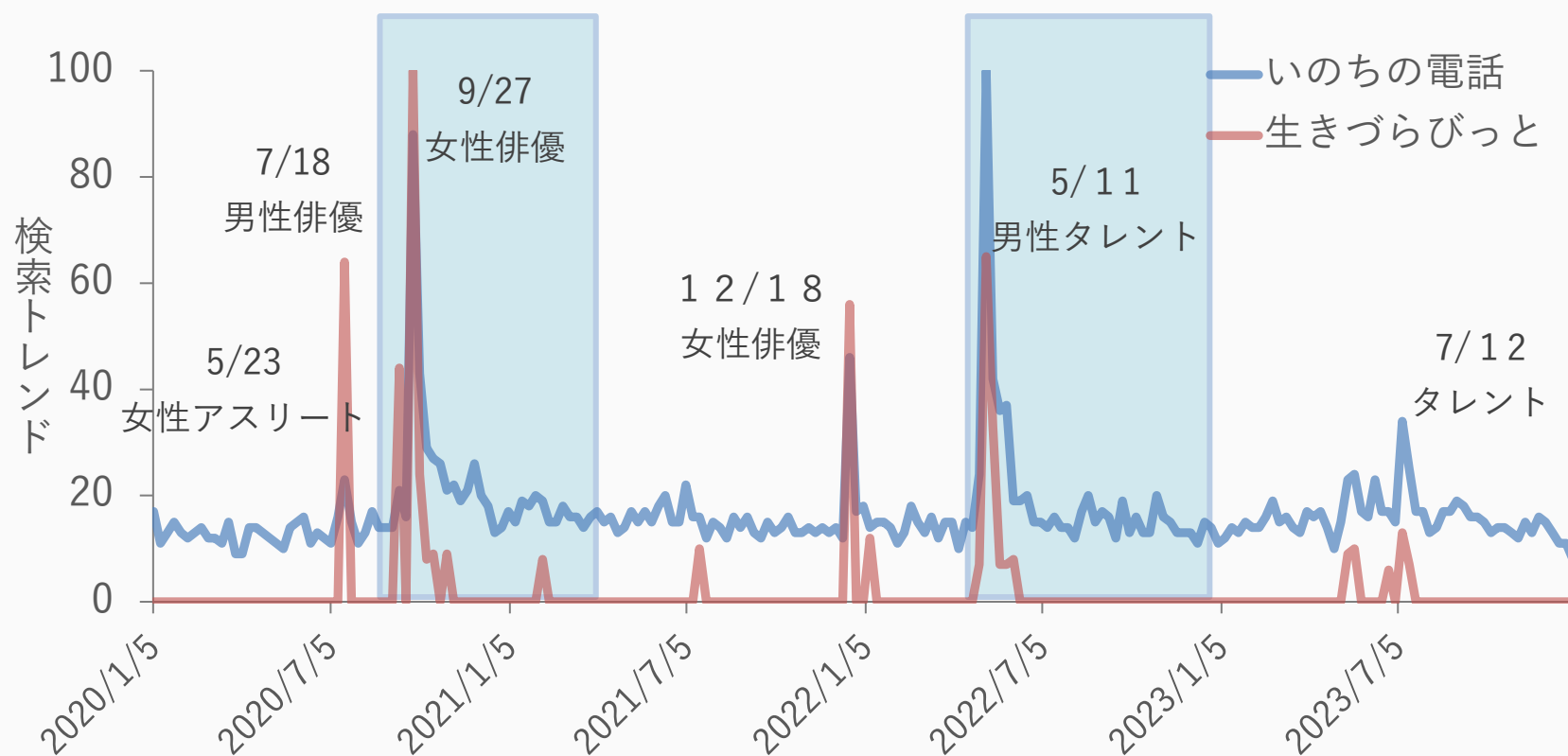
支援先の掲載数は増加傾向



※支援先を複数掲載している記事もあるため、支援先の合計が記事数を上回る場合もある

報道後の検索行動（Google trends）

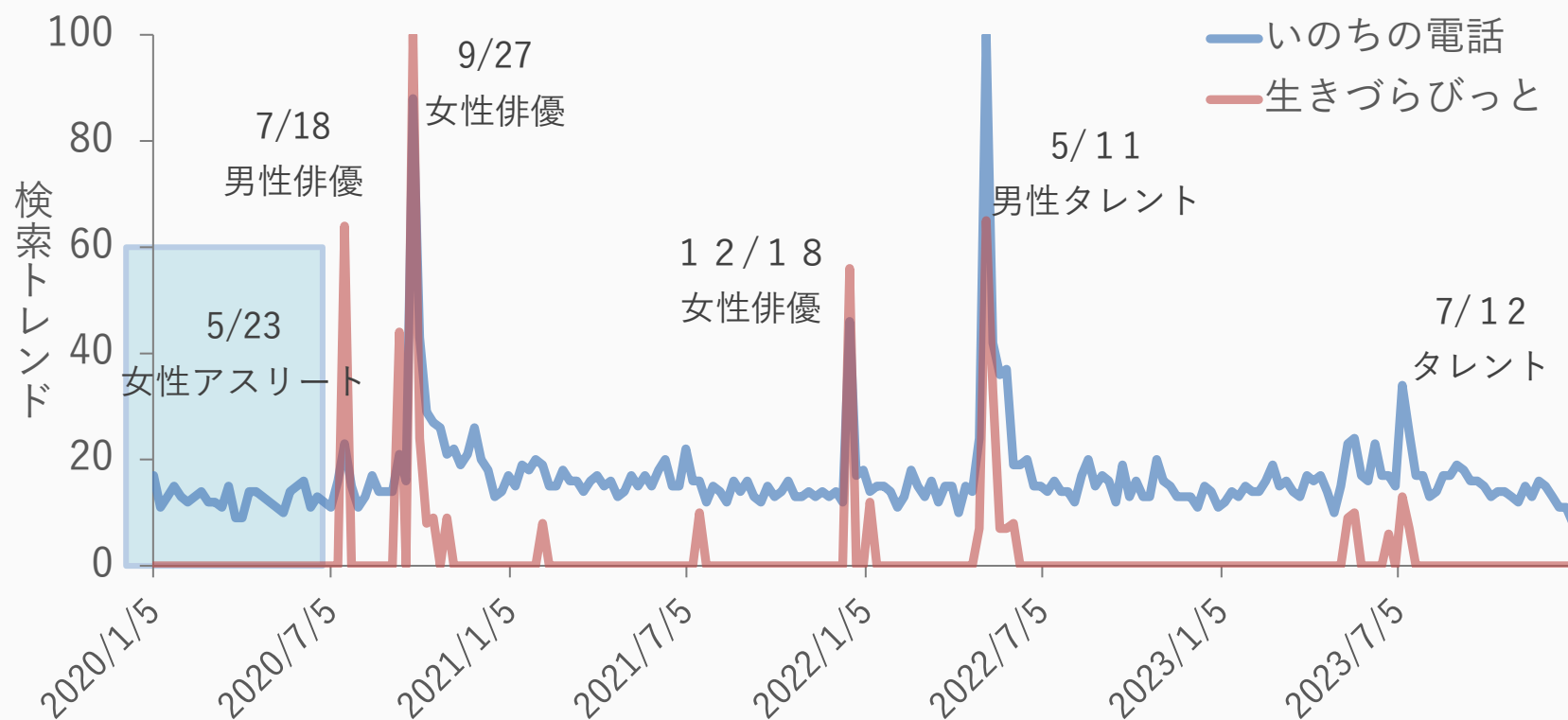
支援先の記載によって検索行動の増加につながる可能性



※Google trendsから2020/1/5～2023/12/31までの期間の各ワードのヒット数（週次）を取得し、分析。各ワード、取得期間中の最大値に基づき、スケールを調整。

報道後の検索行動（Google trends）

支援先の記載によって検索行動の増加につながる可能性



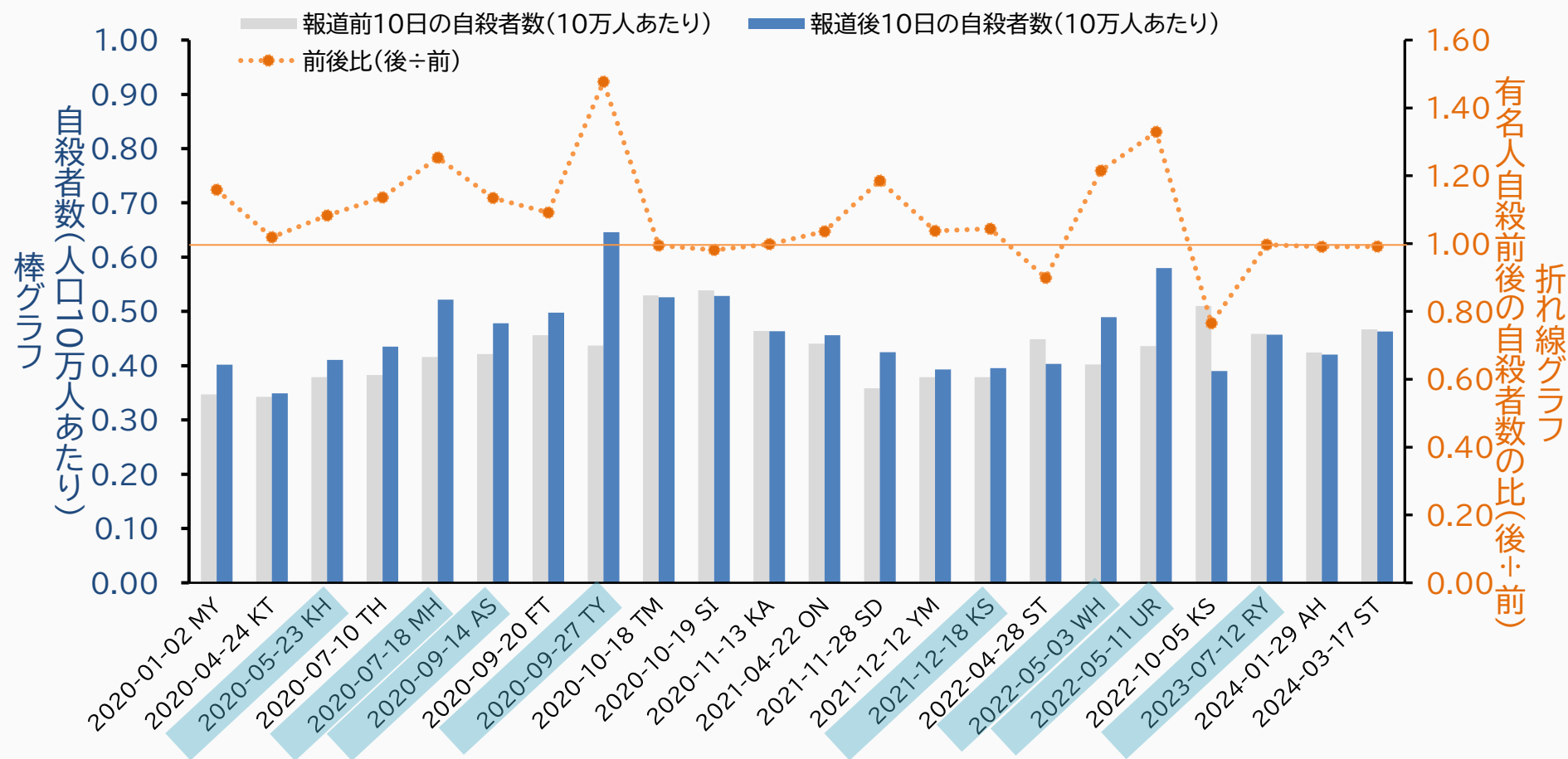
※Google trendsから2020/1/5～2023/12/31までの期間の各ワードのヒット数（週次）を取得し、分析。各ワード、取得期間中の最大値に基づき、スケールを調整。

報道内容の変化と自殺者数の関係

中間報告

有名人の自殺報道後における自殺者数への影響

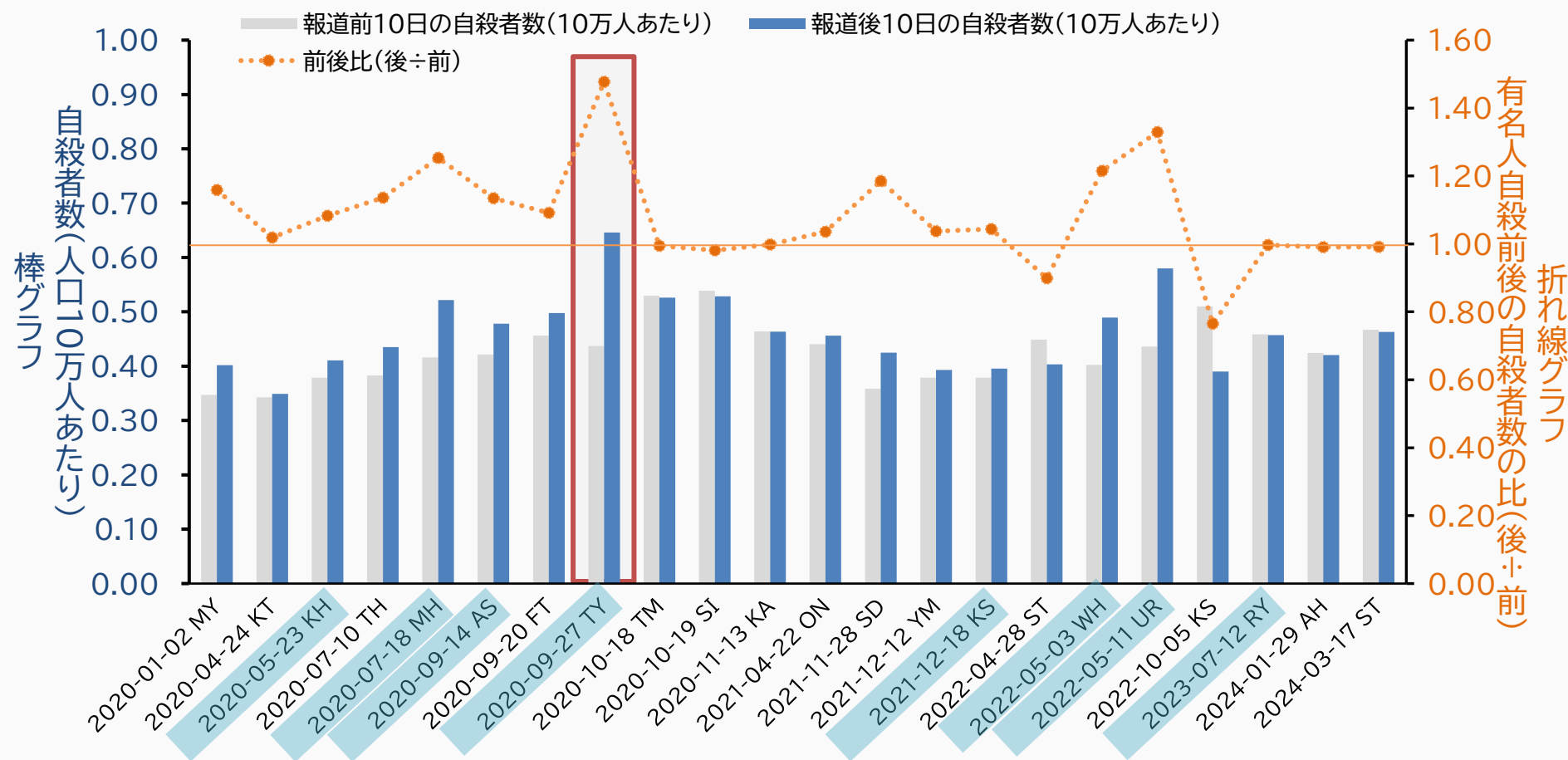
2022年10月以降、有名人の自殺報道における自殺者数の顕著な増加はみられない



※Wikipedia (<https://ja.wikipedia.org/>) の自殺した有名人一覧から、2020年以降に自殺した有名人について、初報日を基に集計。自殺日は必ずしも初報日と一致しない。
※警察庁「自殺統計」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

有名人の自殺報道後における自殺者数への影響

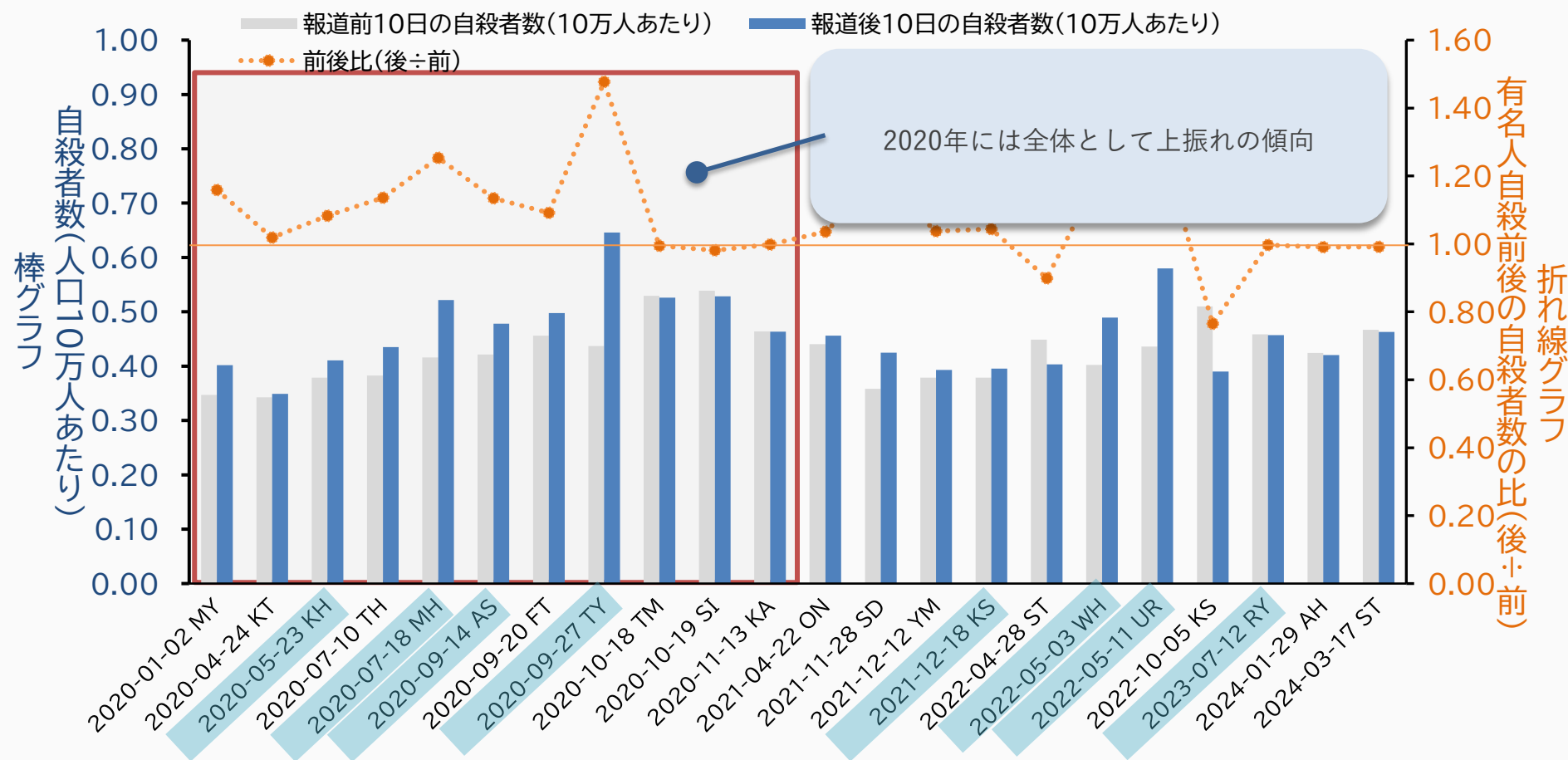
2022年10月以降、有名人の自殺報道における自殺者数の顕著な増加はみられない



※Wikipedia (<https://ja.wikipedia.org/>) の自殺した有名人一覧から、2020年以降に自殺した有名人について、初報日を基に集計。自殺日は必ずしも初報日と一致しない。
※警察庁「自殺統計」および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より、JSCP作成。自殺者数は、自殺日を基準に集計。

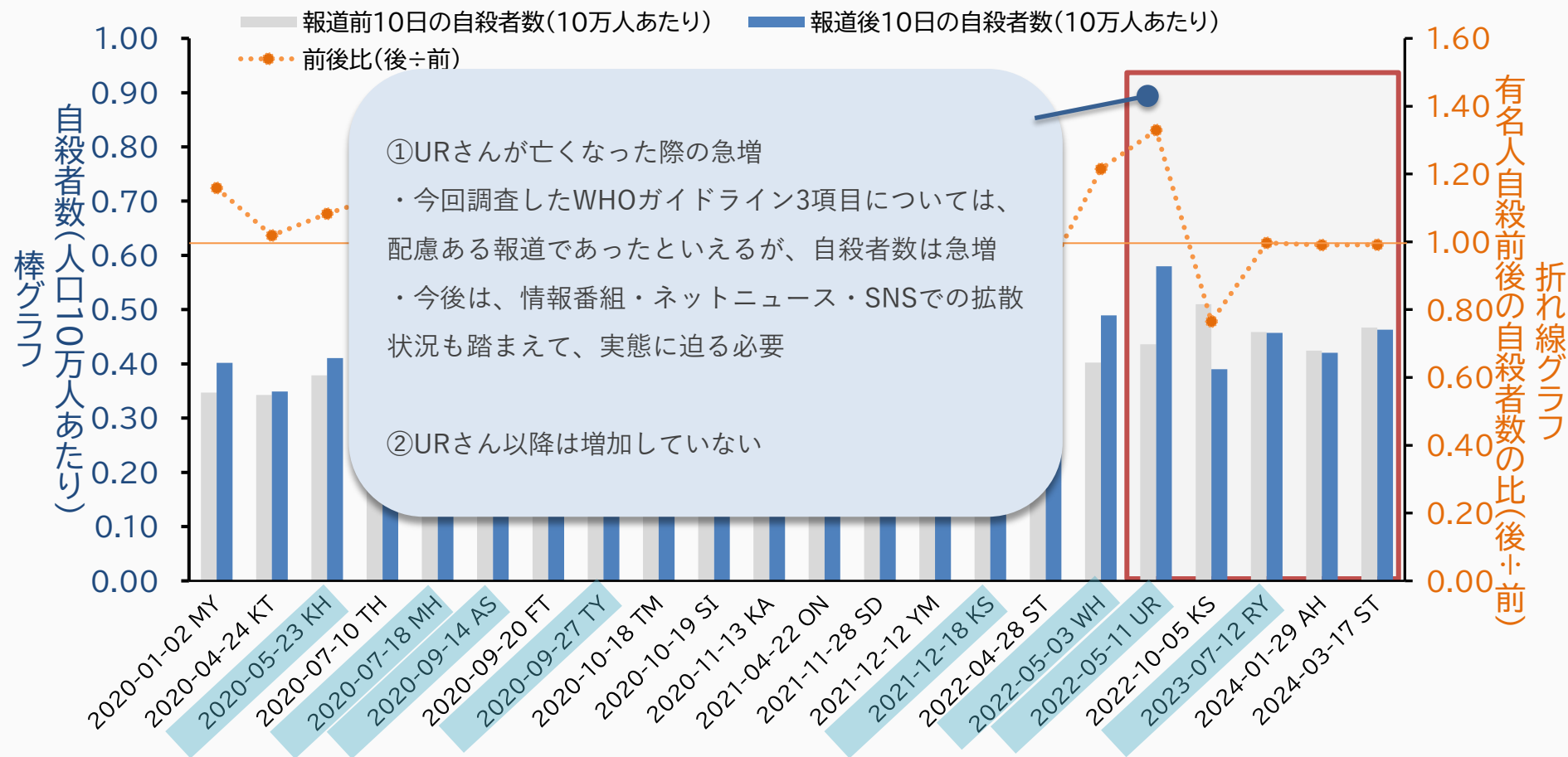
有名人の自殺報道後における自殺者数への影響

2022年10月以降、有名人の自殺報道における自殺者数の顕著な増加はみられない



有名人の自殺報道後における自殺者数への影響

2022年10月以降、有名人の自殺報道における自殺者数の顕著な増加はみられない

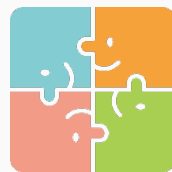


まとめ

- 近年の自殺報道の特徴として、
 - センセーショナルな見出しや手段への言及が減少し、
 - 支援先の情報の記載が増加していることがわかった
- また、明確な因果関係には踏み込めていないものの、2022年10月以降、報道後の顕著な自殺者数の増加は確認されなかった
- 報道内容の変化によって、リスクが高い情報への露出が低下し、助けとなるような情報が増加したことにより、自殺者数の増加が抑制された可能性がある

今後の展望

- この可能性を検証するためには、SNSでの拡散状況や、窓口への相談件数データ（※）なども考慮しながら総合的に影響を評価する必要がある、さらなる検討が必要
- 関連して、報道関係者の皆様ご自身の、自殺報道に対する意識を調査することにも、大きな意義があります
- 事後アンケートの一環として、簡単な調査を盛り込ませていただきましたので、ぜひご協力ください！



いのち
支える